

広げよう緑，心をつなぐ緑の活動

所属・氏名

北秋田市立 竜森小学校4年生 堀部 綾乃・武田 玲菜

1 はじめに

本校では、地域とともに育つ学校として、学校植林コンクールでは、昭和34年に全県で1位、全国で7位となったのをはじめ、平成5年には、内閣総理大臣賞を受賞するなど数々の表彰を受けている。そのため、地区住民の育林に対する関心も非常に高く、育林教室等の行事には毎年、地区の方が多く参加し、児童と一緒に活動を行っている。そこで、子どもたちにふるさとが自然や資源、人材に恵まれていることに気づかせ、自信や誇りをもって伝統を自分たちが受け継いでいこうとする意欲や態度を育くみたいと考えた。

1年間を通した育林活動、各種植樹・育樹祭・緑の少年団交流活動集会参加などで、本校の活動を紹介してきた。地域の人や自然との関わり、自分たちの環境を身近なところから見直していこうとする子どもたちの活動を紹介します。

2 活動内容

(1) 学習内容

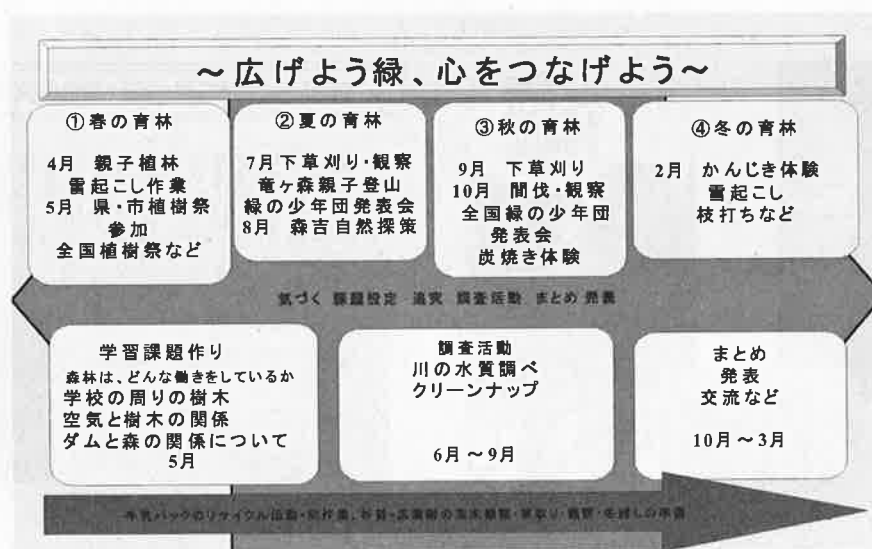
①四季を通した育林活動（総合的な学習の時間や生活科の時間）

春：親子植林・枝打ち・雪起こし等

夏：下草刈り・自然散策（森吉・竜が森・上舟木風景林見学など）

秋：苗木の植え換え作業・間伐・木材工場見学

冬：かんじき体験、苗探し、雪起こしなど ※緑の集会（学期1回実施）



春

4月親子植林、枝打ち、倒れた木の雪起こし



- ・ 1年生の美里さんも
- ・ 親子で植樹。
- ・ 異君も上級生と枝打ち



今年で南小の人と合同で下見刈り。すくて伸びた草、どこに落ちたものか分からない。今日はたけさんの人が来てくれた。南小の人々もとれるかなと見ている。おそろいさ。ゆづりとおついで。いっしょに時間くいかかる。今日は、あつという間に終わって、別々。日光がたけさんたちに当たった。風で揺れて気持ちよかったです。

前日、地域の方々や保護者の方々が下見刈り作業を支援してくださいました。今年で南小の5年生22名もお手伝いに来ました。

2009/2/4



秋

9月 間伐ボランティアに参加



間伐見学・体験

2009/2/4

くらい森 木を切つたら明るいな
お日さまゆらゆら 木がやく森にかんぱうの名
魚住さん、あつという間にチェーンソーで大きな木を切りたおしてしまいました。すばらしい。

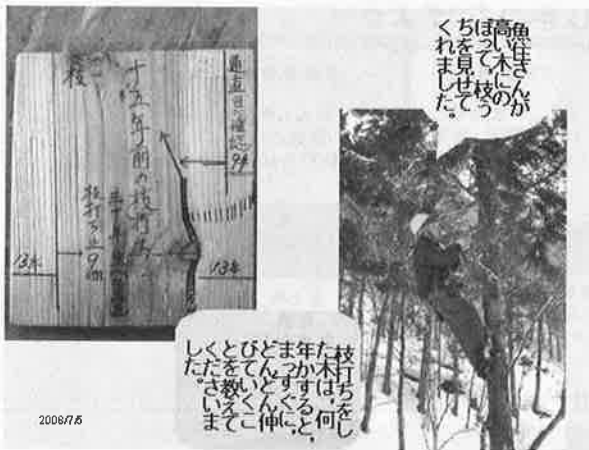
冬

3月 かんじき体験・苗探し・雪起こし



今年度は少ないけどみんな入らうと思っただ。

みんなよく来てね自分の思い生きたてた。だより。あつという名をひらいての樹より



2008/7/5

魚住さんがほえてくれた枝をみました。

枝打ちをした、何となく、今年、木は、すくなく、伸びて、また、さす。

自分たちの活動を県・全国へ発信(作文・詩・短歌・俳句)



2009/2/4

20

- (2) 国語～体験したことを作文や詩・俳句作り 総合的な学習の時間：自然環境調査 家庭科～きのこや畑から収穫した米、野菜などを使い、祖父母や地域の方々と協力し、みそ汁やだまこ鍋、たんぼ作りをし、みんなで食べた。

図画工作科～プランターカバーや木工作品作り・間伐材を活用した工作など

自分たちの活動を県・全国へ発信(発表・ポスター・作文)



竜森小学校
1年級部 竜誠

秋田県北秋田市立
竜森小学校 2年
武田 沙輝

秋田県北秋田市立
竜森小学校 3年
梅原 圭祐

平成19年度国土緑化運動原
西コンクール 林野庁長官賞

平成20年度国土緑化運動スター原西コンクール
国土緑化推進機構理事長賞

自分たちの活動を県・全国へ発信(作文・詩・短歌・俳句)

生活を守ってくれる森

今、世界は地球温暖化という問題が起きている。木を植えることで地球温暖化から人間の生活を守ることに努めている。と聞かされた。この楽しみを話した。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。

ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。

ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。

ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。

ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。ぼくたちは自然を愛して、自然を守り育てていく。

森本陽子(5歳) 文・挿絵 入賞作品

(3) 奉仕活動

- ①親子花壇活動～親子で花植え活動や水やり、除草などを行い草花を育てる喜びをもつ。
- ②親子奉仕活動～キャンプ場や北欧の森公園、竜が森山などのリーニアツ森林の環境整備など
- ①地区整備活動～花植え活動、竜森ロード

広げよう緑, 学校から地域へ,



プランターカバー製作 石けん作り ゴミ拾い



どろどろの 廃油が 魔法の液で 変身だ エコ石けん できあがり

3年 みさき

(4) 各行事への参加

- ①第58回全国植樹祭への参加 ②地域の福祉施設の植樹祭参加 ③キャンプ場へ植樹
- ④全国育樹祭参加 ⑤緑の少年団交流集会，発表会参加など

6月 広げよう緑，地域から，県内へ，全国各地へ

自分たちの活動を県・全国へ発信(発表・ポスター・作文)

秋田県ふるさと水と緑賞献賞

全国植樹祭パンフレットで紹介

北秋田市立 竜森小学校 緑の少年団

学校林活動を中心とした水と緑の学習・体験と保全活動

当校は、「育てよ緑」をうたわしたの巻頭をテーマに、心と心の自然を学習素材とした「緑の学習」を体系的な学習の柱とし、毎年1回、地域の自然とともに水と緑の学習・保全活動を展開してきた。

その中心となる学習活動は、苗木づくり、園芸施設、テマリ作りには秋田県立の園芸施設、実習や町、他県など多様な地域・環境を通じて、春の自然観察や観察日記の作成、園芸活動を展開している。

また、川の水質調査やクリーンアップ活動など地域の人々と一緒に取り組む活動も展開し、これらを通じて、児童や地域（町）の人々の心と心と水と緑のつながりや自然への理解が深まると考えている。

(平成25年に秋田県ふるさと水と緑賞(水と緑の学習・体験活動)を受賞)

2009/3/24

緑の活動で心をつなぐ

27

県緑の少年団交流発表会知事賞・県教育の日制定推進大会で発表

3 今後の展望と課題

本校にとっての最大の地域学習素材は、地域に広がる緑の自然である。とりわけ学校林は森林そのものが豊かな学習要素をもつことに加え、何十年という時をかけ、祖父母、父母、先輩地域の人々が協力し合い慈しみ育ててきた「心」を学ぶことのできる素材である。さらに、地域の人々の学校への思いとともに育林活動が引き継がれており、学校林は、特別な生命をもつ学習素材である。本校はこれらの活動を通して子どもたちは、これまで育林活動を支えてきた地域の方々に感謝の心を持ち、自分たちで伝統を引き継ぎ、自然環境を守っていこうと意欲を高めてきた。また、様々な体験活動は、子どもたちの心の豊かさやたくましさを育んできた。そして自分たちの活動をいろいろな場で表現することにより、子どもたちは自信と誇りを持ち

行動できるようになってきた。子どもたちのがんばりが地域の活性化にもつながっている。

来年度は、南小学校と統合となるが、今後も育林活動などの緑化活動を教育活動の中心に据えて、地区住民とともに力を合わせて推進していきたいと考えている。PTAや地区との連携を一層図りながら緑化活動を計画的に進めていきたい。

